

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

242号

2021年11月28日



常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 従来航路で増便可能なのに 旧式な管制行政が原因

市民側からつぎのような指摘がされています。ヒースロー空港のような管制方式を採用すればこんな航路を設定しないでも充分増便できると言うのです。

それを反映してか、令和2年11月から新たな後方乱気流管制方式により、空中における飛行中の航空機相互の間隔が短縮される場合があることを認めざるを得なくなって来ています。

以前行われた説明会でヒースローと羽田の運用回数の違いについての国交省職員とSさんとのやりとりでは、

空港の管制機器の差かと考え、そう質問しましたが差は無いとの答えでした。ではヒースローの運用回数が多いが視察研究しましたか、と尋ねると、視察はしていない、する必要はない、航空管制の国際基準について知る必要が無い、拳句には羽田は羽田のやり方でやる。ということだったそうです。思考停止なのでしょうか？

○ 自民の中にも良識派が？

25日(木)の港区議会で、ベテラン自民区議うかい氏が羽田新ルートについて、住民アンケートの結果を広く国交省へ伝えよ、早く固定化回避を実施せよ、成田の活用を促進せよと区長に要望したそうです。徐々に変化が？

○ クルドサックとロータリーの街灯

来年1月中旬から取り替え工事が始まりです。石井幹子デザイン事務所の監修で単灯式のシックなものになるようです。

○ バザーの報告

10月31日(日)10時からいつものガレージで景観を守る会のバザーを催しました。開店と同時にお客がどっと入り、良い物が安く得られることと選挙の日開催ということが周知されたのかと思います。ご協力有難うございました。ご寄付、思いがけず沢山頂き、感謝に堪えません。

○ 天理教の施設が？

常盤台1丁目の東北側の住宅地に天理教の教会施設兼個人住宅の建設の申請がありました。

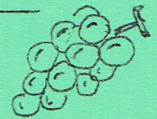
付近の住民の人々から反対の声があがり、東町の町会長の斡旋で21日(日)の夜、常盤台集会所で説明会が行われました。常盤台の景観を守る会のVoice of tokiwadaiにお知らせのメールがあったので出席したところ、施工主のご夫婦と施工担当会社から二人が説明に来ました。宗教施設は不特定多数の人の出入りと読経などの騒音の問題を生みがちです。

常盤台には既に住宅地の中とは言え、金光教・顕正会・バプテスト教会などがあります。地域に貢献しているものもあれば住民に嫌悪感を持たれているものもあります。どんな宗教団体なのか問題なのです。もし建築を拒否したいのならば地区計画を作らねばなりません。

住民は建築の翻意を要望、施主側はいったん持ち帰りを希望しました。今後、どのように事態が推移するのか注目していきたいと思います。

○ 車の下に餌を置かないで

地域猫のために餌を置きに来る人がいますが、これから寒くなると、車のエンジンの暖かさを求めて、猫が入り込む危険があり、知らずに轢いてしまう事だって考えられます。決して車の下に餌を置かないで！とXさんからの要望です。



葬祭場反対運動をふりかえる(2)

この反対運動に献身的に参加したのは、その建物に面した通りの家全部と、そこに通じる並木道に面した部分と、クルドサククに通じる道に面した家々で、三つの通りがこぞつて加わったのでした。運動の代表者は建物の向かい側のKさん、事務局長はEさんと直ぐ決まりました。

住宅地に建てるにはおかしな建築だと気が付いたのはかなり工事が進んでからでしたが、葬祭場と分かってからは、はつきり近所の反対の意思表示をするために思いつく色々なことをしました。勿論、建物の傍にも横断幕やのぼりを立てたりしました。

横断幕やたすきや鉢巻きにした白い布は、嫁入りの時持つて来たさらしやキャラコを提供して貰い、寸法を測って裁断する人、端をかがる人、その上に字を書く人、とあつという間に分担していきました。

集会や話し合いは、向こうの説明会が一度だけ三井銀行の会議室であったほかは、今は個人の住宅が建っている三角地の第一常盤台集会所で週末の夜、やっています。毎回三十人ほど集まって相談していました。

近所同士の普段の日の集まりは、殆どEさんのお宅を使わせて貰いました。みんな勝手にお茶の支度をし、帰りには誰とも無く後片付けをして、それは自然に動いていました。

詐欺にひっかからないで

前号で新手の詐欺について載せましたが、にもかかわらず被害を受けた人がいます。恥ずかしいことなので黙っていたいけれど、実体験を知って貰って被害を防ぐことができれば、とSさんが話してくれました。常盤台にこの手の電話が広くかかっているのではと思われます。

Sさんの所に区役所の福祉課とかから電話が来ました。前号の場合と同じ手口で、何ヶ月も前に緑色の封書を送った。再発行できないので取引先の金融機関に振り込むから、と郵便局に口座が有ることを聞き出す。すると口座のある郵便局からと言って別の男から電話が来る。振り込みの通知が来たがATの不具合で新しく通帳と口座を作り直さねばならない。局員が行くから古い通帳とカードを渡して貰いたい。Sさんは自分で郵便局に行こうと思ったがT度ガスメーターの取り替え工事の最中だったので、訪れてきた局員と名乗る男にカードと通帳を渡してしまつた。工事の後で念のため区役所に電話して詐欺と分かったが、既に五〇万円引き出されていた。ということでした。

Sさんは決してカードは人に渡してはいけない、と皆さんに忠告しています。

区役所から還付金や督促で電話が来ることは決してありません。

タヌキが帰って来ていました!

常盤台が住み辛いのか、一時姿を消していたタヌキがいつの間にか戻っていました。一丁目目の中心部で目撃されています。

常盤台公園のはなづくり

十一月の始めに毎年花苗の植え付け作業があります。同時にチューリップの植え込みを行います。

今年もKUさん、KAさん、の応援を得て、Sさん、Tさん、のつばさん、と六人で作業を終えました。皆さん若者とは言えない方々なので、痛む腰を伸ばし伸ばし、でしたが、いつもより人数が多かったので、一時間半ぐらいで済みました。

翌日見たら、さっそく猫がトイレのためほじった跡が何カ所もありました。チューリップの芽が爪で引っかかれると、花が咲かないこともあるのです。

チューリップを植え込んだ上にビオラを植えてあります。冬の寂しい風景の中で可愛い彩りで、通りがかりの人の目を慰めてくれるでしょう。花がらを摘んで花付きを良くする作業が続きます。

TAさんとは初顔合わせをしました。いくら区の責任管理と言っても手入れはできず、地元の協力がなければ役所も良い方へ動かないのではないのでしょうか。

景観を守る会のバザーで、はなづくりの会のマーマレードを求めて見えた人が何人もいたのが大変嬉しかったです。今年分は売り切れてしまい、来年の四月ごろ作りますのでよろしくお願い致します。

